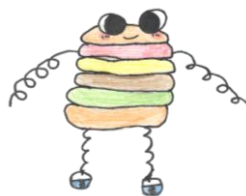


# 伸びんとす



2025（令和 7）年 7 月 15 日  
福山市立日吉台小学校  
4 年 学年通信 No.7

## 音楽科 鑑賞の学習より

音楽の時間に、「地域に伝わる音楽」の学習をしました。日本各地にある、いろいろな踊りや舞の音楽の中から自分が選んだものについて調べ、みんなで交流した後、動画での鑑賞をしました。調べたことや気付いたことをまとめたので、紹介します。

「<sup>みぶ はなたうえ</sup>壬生の花田植」は、広島県北広島町壬生地区で伝わっています。

毎年6月第1日曜日に開催していて、大太鼓、小太鼓、笛、手打鉦を使って演奏されています。他に、早乙女たちが歌っていて、音楽に合わせていねを植えています。

映像を見て、牛の後ろに耕す物を付けていたのが分かりました。

「<sup>さがみさとかがら</sup>相模里神楽」は、神奈川県厚木市で伝わっています。

「相模里神楽」は、毎年秋に開催されます。楽器は、主に、笛や太鼓です。人々の健康などを願い、笛や太鼓などで演奏する囃子に合わせて踊っています。

映像を見て、「相模里神楽」は、歌はなく、踊りと楽器だけだということが分かりました。

「<sup>さぬきししまい</sup>讃岐獅子舞」は、香川県で伝わっています。

室町時代から始まりました。秋祭りで見ることができます。太鼓とかねを使って演奏しています。平和や豊作を願い、太鼓やかねなどで演奏する囃子に合わせて舞います。

映像を見て、讃岐獅子舞は何個もあって、一つ一つ、獅子舞や楽器が違うことが分かりました。

「<sup>なち でんがく</sup>那智の田楽」は、和歌山県那智勝浦町で伝わっています。

那智の田楽は、びんざさら、太鼓、つづみ、笛で演奏されています。平成24年(2012年)に、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。毎年7月14日に演奏されています。踊り手が並びをかえながらリズムカルに踊るのが特徴です。高めの音がする笛が、主に聞こえました。

映像で見ると、「こきりこ」のように小さい舞台であるのが分かりました。びんざさらを使っていたのも、「こきりこ」ととても似ていました。

「<sup>じゃおどり</sup>長崎くんちの龍踊」は、長崎市で伝わっています。

諏訪神社というところで、10月7日から9日まで見られます。長いラッパを使います。

映像を見ると、とても迫力があつたし、長いラッパを本当のりゅうの声みたいにふいていて、とてもよかったです。

「<sup>にしも ない ぼんおどり</sup>西馬音内の盆踊」は、神奈川県厚木市で伝わっています。

編み笠や頭巾をかぶった人が、囃子に合わせて踊ります。

曲を聴くと、本当に踊りたくなるようでした。映像を見ると、かなりの人数が参加していると思いました。

「<sup>こしきぶよう</sup>アイヌ古式舞踊」は、北海道で伝わっています。

「アイヌ古式舞踊」に使われる楽器は、ムックリとトンコリです。

曲をきくと、わくわくするようなきれいな音がきこえました。映像で見ると、ムックリとトンコリの楽器の形が、思っていたのと全然違っていたので、びっくりしました。

こどもたちにはなじみのないものが多かったのですが、だからこそ、興味をもって調べたり鑑賞したりしていたように思います。

2学期の音楽発表会では、ジャンルが全く変わり、ラテン風のメロディーとリズムが特徴の「テキーラ」を合奏します。夏休みに、担当の楽器の練習を始めていきますので、励ましの声掛けをよろしくお願いします！